

大規模災害からの被災住民の生活再建を支援するための応援職員の 派遣の在り方に関する実務検討会（第5回）【議事要旨】

1 日 時

平成29年11月9日（木）13:30～15:30

2 場 所

総務省6階601会議室

3 出席者（五十音順）

米 澤 道 隆（全国知事会調査第二部副参事）【代理出席】
尾 田 広 樹（指定都市市長会事務局次長）
直 江 史 彦（全国町村会行政部長）
前 阪 一 彰（兵庫県企画県民部防災企画局広域企画室長）
甘 利 英 治（総務省自治行政局市町村課課長補佐）【代理出席】
陰 山 暁 介（消防庁国民保護・防災部防災課震災対策専門官）【代
理出席】
諸 戸 修 二（総務省自治行政局公務員部公務員課長）

4 議事次第

- (1) 開会
- (2) 意見交換
- (3) 閉会

5 議事の経過

事務局から、各回の検討項目に関する事務局修正案の説明等を行った後、意見交換を行った。出席者からの主な発言内容は以下のとおり。

- 全国スキームによる派遣の調整については、実際は順次応援要請が来ることが想定されるため、迅速かつ柔軟に対応できるようにすべきではないか。
- 応援要請に円滑に対応するため、本スキームの対象となる応援職員の業務を明確に示すべきではないか。
- 応援職員確保調整システムについては、今後訓練も実施したうえで、制度面の検証を行っていきたい。

以上

文責：自治行政局公務員部公務員課